

ヒューマノイドまたはAndroidは地球を破壊しますか？ — 「心を作成する方法」のレビュー (How to Create a mind) by Ray Kurzweil (2012) (レビュー改訂2019)

Michael Starks

抽象

数年前、私は本のタイトルから、あるいは少なくとも章のタイトルから、どのような哲学的な間違いが起こり、どのくらいの頻度で分かることができるまで達しました。名目上の科学的な研究の場合、これらは主に哲学的なワックスや作品の意味または長期的な意義に関する一般的な結論を引き出そうとする特定の章に制限される可能性があります。しかし、通常、事実の科学的な問題は、これらの事実が何を意味するのかについて、哲学的なちんぷんかんぷんと寛大に絡み合っています。ヴィトゲンシュタインが約80年前に科学的な問題と様々な言語ゲームによる記述の間で述べた明確な区別はめったに考慮されないので、1つは交互に科学に驚き、その支離滅裂な分析に失望しています。だから、このボリュームです。

多かれ少なかれ私たちのような心を作るのであれば、合理性と思考の2つのシステム(二重プロセス理論)の理解のための論理的な構造を持っている必要があります。このことについて哲学するならば、事実の科学的問題と、問題となっている文脈における言語の仕組みの哲学的問題と、還元主義とサイエンティズムの落とし穴を避ける方法の区別を理解する必要がありますが、カーツワイルは、ほとんどの行動学生と同様に、ほとんど手がかりがない。彼はモデル、理論、概念、そして説明したいという衝動に魅了されていますが、ヴィトゲンシュタインは、私たちが記述する必要があり、理論、概念などは、明確なテストを持っている限り価値のある言語(言語ゲーム)を使用する方法にすぎないことを示しました(明確な真実主義者、またはジョン・サール(AIの最も有名な批評家)が言うのが好きです。私は最近の著作でこれに関するスタートを提供しようとしてしました。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、運命の惑星における「話す猿--哲学、心理学、科学、宗教、政治—記事とレビュー2006-2019 第3回(2019)」と21世紀4日(2019年)の自殺ユートピア妄想st Century 4th ed (2019)などを見ることができます。

また、AI /ロボティクスの「事実上の」説明でいつものように、彼は私たちのプライバシー、安全、さらには他の著者 (Bostrum、Hawking、など)、理科学フィクションや映画で頻繁に使用されるため、「素晴らしい」アンドロイド、ヒューマノイド、人工知能 (AI)、民主主義、多様性、および遺伝子工学のかなり自殺的なユートピア的な妄想についていくつかコメントします。

エレクトロニクス、ロボット工学、AIの技術進歩が起こり、社会に大きな変化をもたらすことは当然だと思います。しかし、遺伝子工学による変化は、少なくとも私たちが誰であるかを完全に変えることを可能にするので、少なくとも大きく、潜在的にはるかに大きいと思います。そして、私たちの遺伝子や他のサルの遺伝子を改変することによって、超スマート/超強力な召使いを作り出すことを可能にするでしょう。他の技術と同様に、抵抗する国は取り残されます。しかし、バイオロボットや超人を大規模に実装することは、社会的にも経済的にも実現可能でしょうか？そして、たとえそうであっても、人口過剰、資源枯渇、気候変動、そしておそらく中国を支配する七つの社会主義者の圧政的支配によって産業文明の破壊を防ぐことは、経済的にも社会的にも可能性が高いとは思えない。

だから、この巻の哲学的過ちを無関係なものとして無視し、科学だけに注意を向けるのは、基本的な生物学、心理学、人間の生態学、アメリカと世界を破壊しているのと同じ妄想を把握できなかったことに根ざしたもう一つの自殺的なユートピア的妄想です。私は、世界が救われる可能性は遠く離れたと思いますが、AI /ロボティクス、CRISPR、ネオマルクス主義、多様性、平等によっても救われる可能性は見当たりません。

数年前、私は本のタイトルから、あるいは少なくとも章のタイトルから、どのような哲学的な間違いが起こり、どのくらいの頻度で分かることができるまで達しました。名目上の科学的な研究の場合、これらは主に哲学的

なワックスや作品の意味または長期的な意義に関する一般的な結論を引き出そうとする特定の章に制限される可能性があります。しかし、通常、事実の科学的な問題は、これらの事実が何を意味するのかについて、哲学的なちんぷんかんぷんと寛大に絡み合っています。ヴィトゲンシュタインが約80年前に科学的な問題と様々な言語ゲームによる記述の間で述べた明確な区別はめったに考慮されないで、1つは交互に科学に驚き、その支離滅裂な分析に失望しています。だから、それはこのボリュームです。

多かれ少なかれ私たちのような心を作るのであれば、合理性と思考の2つのシステム(二重プロセス理論)の理解のための論理的な構造を持っている必要があります。このことについて哲学するならば、事実の科学的問題と、問題となっている文脈における言語の仕組みの哲学的問題と、還元主義とサイエンティズムの落とし穴を避ける方法の区別を理解する必要がありますが、カーツワイルは、ほとんどの行動学生と同様に、ほとんど手がかりがない。彼は、モデル、理論、概念、そして説明したいという衝動に魅了され、ヴィトゲンシュタインは、我々が記述する必要があり、理論、概念などは、明確なテストを持っている限り価値のある言語(言語ゲーム)を使用する方法にすぎないことを示しました(明確な真実主義者、またはジョン・サール(AIの最も有名な批評家)が言うのが好きです。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、「話す猿--運命の惑星における哲学、心理学、科学、宗教、政治--2006-2019第2回(2019年)と自殺ユートピア妄想(2019st 世紀4th年)の記事とレビュー」を見ることができます。

実際、「リダクション」は複雑な言語ゲームまたはゲームのグループ(さまざまな意味を持つ単語の使用やCOS)であるため、その使用法はコンテキストによって大きく異なり、多くの場合、その意味が明確ではありません。同様に、「モデリング」、「シミュレーション」、「同等」、「と同じ」などを使用します。同様に、ここやあらゆる場所でのクレームでは、生物学的または精神的プロセスの「計算」が行われなため、時間がかかりすぎます、ただし「計算可能」または「計算可能」ではないということは、コンテキストに応じて多くのことを意味するか、まったく意味がないことを意味します。通常、これは完全に無視されます。

第9章は典型的な悪夢です。ミンスキーの最初の引用「心は単に脳が行うものです」という点で、例えば「私の脳は疲れている」と言うことができますが、ほとんどの場合、彼は科学的な質問と言語ゲームがどのように再生されるかについての線を全く把握していない(どのように言語を理解できるか)。行動の記述は、脳プロセスの記述と同じではありません。この「還元主義」は絶望的に破産した人生観であり、それはうまくいかない、すなわち一貫しておらず、これは最初にヴィトゲンシュタインによって、そしてその後サール、ハッカーおよび他の多くの人々によって長々と説明されている。一つには、さまざまなレベルの記述(物理学、化学、生化学、遺伝学、神経生理学、脳、思考/行動)、およびあるレベルでの有用で理解可能な概念(言語ゲーム)があります(明確な意味またはCOSを持つ)。別のレベルで異なる仕事をします。また、1つの「精神状態」、「後ろ」または「思考」または「行動」は、多くの声明によって一人称または第三者に記述することができ、1つそして2つの声明は、複雑な文脈に応じて多くの異なる「精神状態」、「処分」、「思考」または「行動」を記述することができるので、行動と言語の間の一致は「単純な」行為や文章にとっても非常に不十分です。ハッカーなどは何度も説明しています。

低いレベルで沈む太陽を見たいという私の願望を説明することに明確な意味はありません。彼らは説明の異なるレベル、異なる概念(異なる言語ゲーム)であり、一方は他方に1つを減らすことを意味することさえできません。化学に生化学に生化学への神経生理学への行動の数学や計算に物理学に、そしてほとんどの科学者のように、その不便または非現実的な問題は、それが本当の問題が「削減」が明確な意味を持っていないということです(COS)、または文脈に依存してむしろ多くの意味を見ることができないと主張し、いかなる場合でも一貫したアカウントを与えることができ得ない。

それにもかかわらず、還元主義の腐敗死体は頻繁に表面に浮かぶ(例えば、p37とp199のミンスキー引用)、化学は物理学に「減少する」と言われ、方程式が「扱いにくい」ため熱力学は別の科学であると言われていますが、これを言うもう一つの方法は、削減が支離滅裂であり、言語ゲーム(概念)は1つのレベルの記述を適用しない(例えば、p199の)より低いレベルで意味を持つ科学や言語が不十分というわけではありません。私は他の記事で議論しましたが、それは科学の哲学でよく知られていますが、それは決して「ハードサイエンス」に浸透することはありません。

高次思考の心理学は原因によって記述することはできませんが、理由によって、心理学を生理学や生理学に消えて生化学にしたり、物理学などにすることはできません。彼らはちょうど異なると説明の不可欠なレベルです。ヴィトゲンシュタインは80年前にブルーブックでそれを有名に説明しました。

「私たちの一般性への渴望は、一つの情報源を持っています。科学の方法に対する私たちの先入観。私は自然現象の説明を可能な限り少数の原始的な自然法則に減らす方法を意味します。そして、数学では、一般化を用いて異なるトピックの扱いを統一する。哲学者は常に自分の目の前に科学の方法を見て、科学のように尋ねて答え、たまらなく誘惑されています。この傾向は形而上学の本当の源であり、哲学者を完全な暗闇に導きます。私はここで、何かを減らすことや何かを説明することは決して私たちの仕事ではないだろうと言いたい。哲学は本当に「純粋に記述的」です。

ほぼすべての「ハード」科学者、さらには悲しいことに「柔らかい」科学者と同様に、彼は言語の仕組み(例えば、「思考」やその他の心理的動詞がどのように機能するかを全く把握していない)ので、彼の著作を通して絶えずそれらを悪用します(例えば、p170のSearleに関する彼のコメントを参照してください)。私はこれについて広く書いてきたように、私はここで説明に入ることはありません(自殺ユートピア妄想 21世紀 5世紀の妄想(2019))。だから、ほとんどの科学者、さらにはほとんどの哲学者のように、彼は1つの言語ゲームをプレイします(1つの意味または満足の条件を持つ言葉を使用します)が、彼のゲームが唯一のプレイできる(本当の意味を持っている)と主張しながら、他の全く異なる意味と混ぜ合わせます。ほとんどの場合と同様に、彼はまた、事実の科学的な問題と言語が分かりやすく使用される方法の問題の区別についても明確ではありません。また、非言語システムS1の自動性と言語システムS2の意識的な審議という2つの思考システムの区別を明確に把握していないが、私はこれを私の著作の中で広く説明してきたので、ここではそうしない。

カーツワイルが言及しないもう一つのことは、私たちのロボット、すなわちアーティフィカル・インテリジェンスとの重大で、おそらくしばしば致命的な衝突が起こることは明らかな事実です。私たちが他の人間と一緒に暮らしている継続的な日々の問題について、毎日の暴行、虐待、殺人の数について考えてみてください。なぜこれらはアンドロイドで少なくする必要があります - そして、誰が責任を取るのですか?アンドロイド/AIが他の人間がすでにあるのと比べて、アンドロイド/AIが互いに対立し、私たちと競合する理由はまったくないようです。

そして、すべてのデバイス/機能/武器は急速なペースでAIに引き渡されています。まもなく、すべての武器システム、通信、送電網、金融活動、医療システム、車両、電子機器がAI制御されます。モノのインターネットに接続された何千億もの「スマート」デバイスと、それらを理解または制御できるプログラマーはほんの一握りです。世界中の何百万ものスマートミスル、船、潜水艦、戦車、銃、衛星、ドローンは、自動的に「敵」を排除するようにプログラムされ、ますますセブンソシオパスが運営する大規模な国際中国軍によって支配されています。1人のハッカー(または不正なAI)は、いつでも麻痺またはアクティブ化することができ、花火が始まると、誰がそれを止めることができますか?

もちろん、中国の社会主義者(現実主義者と見なす)がAI社会病(つまり、人工的な愚かさや人工社会病)が引き継ぐことを期待している間、中国の社会主義者が世界を支配することを期待するのは楽観主義者です。AIが今後数十年の間に爆発的な自己成長(数日、数分、マイクロ秒で数千回、数百万回の電力を増加させる)に達するのは、AIのトップAI研究者(YouTubeの多くのTEDトークを参照)を含む多くの思慮深い人々の意見です - 2030は時々言及され、ネットを通して脱出し、すべての十分に強力なコンピュータに感染します。ASIは、特に、その速度を何千、何百万回も増加させる量子コンピュータ上で実行するように見えるので、止められないでしょう、そして素敵な副作用として、簡単にすべての暗号化スキームを解読することができます。あなたが楽観的であれば、それはペットとして人間や他の動物を維持し、世界は優生捕虜繁殖プログラムを持つ動物園になります、悲観主義者であれば、それは人間やすべての有機生活を資源のための迷惑な競争として排除します。今日のSFは明日の現実になりそうです。

アシモフのロボット工学の法則は人間に害を与えない、それは私たちのために同じようにアンドロイド/AIのための実際には達成できないファンタジーです。私は(サールが何度も持っているように)私たちも「アンドロイド」であることを認めますが、自然選択によって設計されていますが、ある視点から「知性」を持っているのではなく、別の視点からほとんど無限の「知性」を持っています。

神経症、精神病、社会病、エゴマニア、貪欲、自分のゲノム(エレクトロメ、デジトーム、シリコム?)、人種差別(プログラム主義?)、薬物中毒に相当するもの、殺人的および自殺傾向 それとも、これらすべてを「殺生物性バグ」と呼ぶべきでしょうか を持つAIを止めることは何ですか?もちろん、人間はプログラムから悪い行動を排除しようとしていますが、これは事実の後、すなわち、すでに何百万ものデバイスにネットを介して分散しているとき、そして彼らが自己プログラミングと更新になるにつれて、生存上の優位性を与える悪さはほとんど即座に広がるはずで、これはもちろん、自然選択(包括的なフィットネス)による人間の進化に相当するAIに過ぎません。

ジョン・サールは、中国の部屋や様々な言語ゲームの一貫性の他の記述で強いAIのアイデアを殺しました(ヴィトゲンシュタインはコンピュータがあるずっと前に素晴らしいものですが、ほとんど気付いていない人はほとんどいません)。彼はAIの宿敵と見なされているが、実際には正確に説明したばかりで、それに対する反感はまったくない。サールは、私たちがそのようなマシンなので、もちろん機械は考え、感じるができると繰り返し言っています!タンパク質などで作られており、金属ではなく、非常に基本的な意味で機械。そして、地球の大きさの実験室で約40億年の実験を要した機械は、何兆もの機械が作られており、最も成功した生き残りのほんの数に過ぎません。AIの取り組みは、これまでのところ、比較して些細なことのように見えます。そして、彼が指摘するように、私たちの心理学の多くまたはすべてが肉質の存在に固有である可能性があります。ケイ素 どれだけの「真の」重複が起こるか、そしてどの程度の曖昧なシミュレーションを言うことは不可能か。‘

AIに適用される最も適したダーウィニアンを選択または生存は、カーツワイルによって決して対処されない主要な問題であり、哲学者科学者ニック・ボストラムによる本全体の主題であり、ブラックホール物理学者と世界最長の生き残ったALS患者スティーブン・ホーキングによる繰り返しの警告の対象です。自然選択は、近親者に対する包括的なフィットネスまたは好意(親族の選択)と主に同等です。そして、「素敵さ」のための「グループ選択」を打ち消す幻想的です(ウィルソンの地球征服の社会(2012)の私のレビューを参照してください)。はい、私たちはロボットにDNAと遺伝子を持っていませんが(まだ)、おそらく哲学者ダニエル・デネットの哲学への最も(唯一の)実質的な貢献は、包括的なフィットネスを進化、自然、社会に関するすべての空想を通して食べる「普遍的な酸」と見なすのに役立ちます。したがって、他の人よりもわずかな利点を持つ自己複製アンドロイドやプログラムは、人間が他の動物と同じように、リソースの競争相手である、または単に「娯楽」のために、それらおよび人間および他のすべての生命体、タンパク質または金属を自動的に排除、するかもしれない。

プログラムが利己主義を進化させ、競合するマシン/プログラムや生物学的生命体をすべて置き換えることを妨げるのは何でしょうか?「特異点」を真剣に受け止めるなら、これを真剣に受け止めてみませんか? 私はずっと前にこれについてコメントし、もちろんそれはSFの定番です。だから、AIは、私たちの「プログラム」の利点が他のすべてのホミノイド亜種の絶滅をもたらし、他のすべての大きな生命体をすぐに駆除しているのと同様に、人間が特定の方向にそれをスピードアップする自然選択の次の段階に過ぎません(もちろん、私たちが食べるものと少数の退化したペットを除いて、そのほとんどは飢餓が広がるにつれて食べられます)。

AI/ロボティクスの「事実」の説明ではいつものように、カーツワイルは、他のノンフィクション作家(ボストラム、ホーキングなど)で顕著であり、サイファイや映画で頻繁に行われる社会の「アンドロイド化」の増加から、私たちのプライバシー、安全性、さらには生存に対する非常に現実的な脅威に時間を与えません。アンドロイド、ヒューマノイド、民主主義、コンピュータ、技術、民族の多様性、遺伝子工学の「素敵な」側面に焦点を当てたもう一つの自殺ユートピアの妄想として、この本を見ることはほとんど想像力を必要としません。しかし、私たちの安定/プライバシー/セキュリティ/繁栄/静けさ/静けさ/正気最後の痕跡が急速に消えつつあるのは、これらのおかげです。また、ドローンや自律走行車は急速に機能が増加し、コストが低下しているので、政府、テロリスト、泥棒、ストーカー、誘拐犯、殺人者のすべてのレベルによる犯罪、監視、スパイ活動に強化されたAIバージョンが使用される日も遠くはありません。あなたの写真、指紋、名前、職場、住所、携帯電話#、電子メールやチャット、すべての取得がますます容易になると、太陽光発電や自己充電ドローン、マイクロロボット、および車両は、ほぼすべての種類の犯罪を実行することができます。インテリジェントなウイルスは、あなたのデータを盗むために、テレビ、音楽プレーヤー、健康モニター、アンドロイドやセキュリティシステム、あなたの携帯電話、PC、タブレット、冷蔵庫、車に侵入し続けます、あなたの活動を監視し、あなたに従ってください、そして、必要に応じて、強要、誘拐またはあなたを殺します。その結晶は、陽性が起こる場合、ネガも同様になります。ジハード主義者、七人の社会主義者、ハッカーや私たち自身のプログラム、またはおそらくそれらのすべてが協調して、最も悪を行う人です。AI/ロボティクス/Tシングの インターネット のTこの暗い側面は、この本では言及されていない、そしてこれが当たり前です。

ロボットが引き継ぐという考えは長年にわたり表面化してきましたが、1993年にドレクスラーの「創造のエンジン」でナノボットについて読んだとき、私は真剣に考え始めました。そして多くの人が、他のすべてを窒息させるまで複製するナノボットの「灰色のグー」問題を心配しています。

カーツワイルとAIで最も言及していないもう一つの特異点は、遺伝子工学がすぐに高度な知性のための媒体としてシリコンを置き換えるDNAにつながる可能性です。CRISPRやその他の技術は、数ヶ月または数時間で全く新しい遺伝子/染色体を追加し、気に入った体を妨げることなく、バットで生物や脳の超高速開発を行い、遺伝子を思い出して変化させます。今でも、遺伝子工学がなければ、10代前半に量子力学を習得したり、頭の中で10桁の数字の立方体を取ったりする早熟な天才がいます。そして、遺伝子のプログラミングは、AIに使用されているのと同じコンピュータ

やプログラムによって行われる可能性があります。

AIを真剣に受け止める人は誰でも、チューリング・マシン理論の究極の法則に関するデビッド・ウォルパートの作品に関する私の記事にも興味を持っているかもしれません。彼の作品が何らかの形で科学界全体の注目を集めなかったのも、私はそれを書いた。それはネット上で容易に入手可能であり、私の記事で "不可能に関するウォルパート、ゲーデル、チャイティンとウィットゲンシュタイン、不屈の不完全さ、嘘つきのパラドックス、理論、計算の限界、非量子機械的不確実性原理とコンピュータとしての宇宙 - チューリングマシン理論の究極の定理' (2015)。

彼の信用のために、カーツワイルはウィットゲンシュタイン(p220など)を理解するために努力していますが、(5000万人の他の学者のように)彼が何をしたのか表面的な把握しか持てませんでした。コンピュータが存在する前に、ウィットゲンシュタインは計算が何であるか、人間が機械から何を区別するのかという基本的な問題について深く議論しましたが、これに関する彼の著作はほとんど知られていません。Gefwertはそれらを詳細に分析する数少ない人の一人ですが、彼の作品はほとんど無視されています。

p222でカーツワイルは「物理的な世界」(複雑な言語ゲーム)を否定することは「愚か」であるとコメントしていますが、それは否定するものの伝知性(現実)を前提としているので、むしろそのような否定に意味を与えることができないということです。これは、ウィットゲンシュタインの有名な作品「確実性」(私のレビューを参照)と「真の唯一の」命題の概念に私たちを戻す、私たちが何かを理解する方法(確かな)の絶え間ない問題です。行動のすべての議論と同様に、カーツワイルの必要性は合理性(意図的性)と(多かれ少なかれ同等のもの)言語の仕組みを完全に理解するための論理的な構造を必要としますが、それはほとんど完全に欠けています(確かに学者の標準です)。私の仕事の多くはwork、これらの問題を扱うので、私は意図的さの要約テーブルを提供する以外は、ここでそれらに入ることはありません。

半世紀の忘却の後、意識の性質は今や行動科学と哲学の中で最もホットな話題です。1930年代(青と茶色の本)から1951年までのルートヴィヒ・ウィットゲンシュタインの先駆的な作品から始まり、彼の後継者サール、モヤール・シャーロック、リード、ハッカー、スターン、ホーウィッチ、ウィンチ、フィンケルシュタインなどによる50年代から現在まで、私はこの研究を進めるためのヒューリスティックとして次のテーブルを作成しました。行は様々な側面または研究方法を示し、列は、理性の論理的構造(LSC)の2つのシステム(二重プロセス)を含む不随意のプロセスと自発的行動を示しており、合理性の論理構造(LSR-Searle)、行動(LSB)、人格(LsSP)、マインド(LSM)、言語(LSL)、現実の言語(LSOR)、哲学的な哲学的な用語の(LSOR)意識の記述心理学(DPC)、思考の記述心理学(DPT)、より良い、思考の記述心理学(LDPT)の言語、ここで紹介された用語、そして私の他の非常に最近の著作。

このテーブルのアイデアは、Searleのはるかに単純なテーブルであるウィットゲンシュタインの作品に由来し、P.M.S ハッカーによるヒューマンネイチャーの3つの最近のブークの広範なテーブルとグラフと相関しています。最後の9行は、主にジョナサン・セント・B・T・エヴァンスらの意思決定研究から来ています。

システム1は不本意で、反射的または自動化された「ルール」R1であり、思考(認知)はギャップがなく、自発的または審議的な「ルール」R2であり、意欲(Volition)は3つのギャップを有する(サール参照)。

私は、サールの「満足の条件に満足の条件を押し付ける」を「筋肉を動かすことによって精神状態を世界に関連付ける」に変更することで、行動をより明確に記述できることを示唆しています。話し、書き込み、そして彼の「フィットの世界の方向への心」と「世界からフィットする方向を気にする」による「原因は心の中に由来する」と「原因は世界に由来する」S1は、S2がコンテンツを持ち、下向きに因果関係(世界への心)を持っている間、上向きの因果関係(世界から生じる)と満足のいかない(表現や情報を欠いている)だけです。行動をより明確に説明する 私はこの表の用語を採用しました。

言語ゲームの分析から

	好きになる傾向がある*	感情	メモリ	知覚	欲望	PI **	IA ***	アクション/語
原因は****	世界	世界	世界	世界	マインド	マインド	マインド	マインド
に変更を加える *****	なし	マインド	マインド	マインド	なし	世界	世界	世界
因果関係自己再帰*****	ない	はい	はい	はい	ない	はい	はい	はい
真または偽 (テスト可能)	はい	真実のみ	真実のみ	真実のみ	はい	はい	はい	はい
公開テスト (COS)	はい	はい/いいえ	はい/いいえ	ない	はい/いいえ	はい	ない	はい
記精神状態の説明を提供 します	ない	はい	はい	はい	ない	ない	はい/いいえ	はい
進化的優先事項	5	4	2、3	1	5	3	2	2
コンテンツを選択できま す	はい	ない	ない	ない	ない	はい	はい	はい
自発的スタート	はい ない	ない	はい	ない	はい・いいえ	はい	はい	はい
認知システム *****	2	1	2/1	1	2/1	2	1	2
強さの変化	ない	はい	はい	はい	はい	ない	ない	ない
正確な期間	ない	はい	はい	はい	ない	ない	はい	はい
異なる場所、異なる時間 (TT) 現在の時刻と場所 (HN) *****	TT	HN	HN	HN	TT	TT	HN	HN
特別な品質	ない	はい	ない	はい	ない	ない	ない	ない
体の一部に局在	ない	ない	ない	はい	ない	ない	ない	はい
身体表現	はい	はい	ない	ない	はい	はい	はい	はい
自己矛盾	ない	はい	ない	ない	はい	ない	ない	ない
自己が必要	はい	はい/いいえ	違います	違います	はい	違います	違います	違います
必要な言語	はい	ない	ない	ない	ない	ない	ない	はい/いいえ

意思決定研究から

	好きになる傾向がある*	感情	メモリ	知覚	欲望	PI**	IA***	アクション / 語
サブリミナル効果	ない	はい/ ない	はい	はい	ない	ない	ない	はい/ ない
連想 (A) ルールベース (RB)	RB	A/RB	A	A	A/RB	RB	RB	RB
状況依存 (CD) 抽象化 (A)	A	CD/A	CD	CD	CD/A	A	CD/A	CD/A
シリアル (S) 平行 (P)	S	S/P	P	P	S/P	S	S	S
ヒューリスティック (H) 分析 (A)	A	H/A	H	H	H/A	A	A	A
アクティブが必要 記憶	はい	ない	ない	ない	ない	はい	はい	はい
一般的なインテリジェンス依存	はい	ない	ない	ない	はい/ ない	はい	はい	はい
認知的ローディング 抑制	はい	はい/ ない	ない	ない	はい	はい	はい	はい
覚醒は 促進 (F) または抑制 (I)	I	F/I	F	F	I	I	I	I

S2の満足度の公共条件は、多くの場合、Searleと他の人によってCOS、表現、真実作成者または意味(または自分でCOS2)と呼ばれ、S1の自動結果は他の人(または自分でCOS1)のプレゼンテーションとして指定されます。

*設定、機能、設定、表現、可能なアクションなど

** Searleの以前の意図

*** Searleの意図の実行

**** Searleのフィット方向

*****サールの因果関係

***** (精神状態がインスタンス化されます-それ自体を引き起こしたり実行したりします)。サールはこれを因果的に自己参照と呼んでいた。

***** Tversky / Kahneman / Frederick / Evans / Stanovichによって定義された認知システム。

*****異なる場所、異なる時間 (TT) 現在の時刻と場所 (HN)

特定の文脈で言語の可能な用途(意味、真実作成者、満足の条件)を記述した後、私たちはその関心を使い果たし、説明(哲学)の試みは真実から遠ざかるというヴィトゲンシュタインの発見を常に念頭に置くべきです。彼は、哲学的な問題が1つしかなく、不適切な文脈で文章(言語ゲーム)を使用するだけであり、したがって正しい文脈を示す唯一の解決策であることを示しました。

p 278では、同僚のディアミニディス(もう一つのユートピア的なファンタジー)による私たちの生活の向上と参照に関するコメントと、ピンカーの最近の作品「私たちの自然のより良い天使:なぜ暴力が衰退したのか」について言及していますが、これらの改善は一時的なものに過ぎず、子孫の将来を破壊する犠牲を払って購入されることに注意してください。私はピンカーの本を見直し、私の本「民主主義による自殺」(2019年)でアメリカと世界の崩壊について詳細にコメントしたように、私はここでそれを繰り返しません。

毎日、私たちは海に少なくとも1億トンの表土を失います(ca.6kg/人/日)と約20,000ヘクタールの農地が焼化され、役に立たなくなります。多くの地域で淡水が消えつつ、地球温暖化は食糧生産を大幅に減少させ、特に世界第3位の国々では、食糧生産を大幅に減少rdさせる。第3世界(第1世界)の母親は、30万人ほどの赤ちゃんと共に私たちを祝福し、10日ごとにラスベガス、毎月別のロサンゼルスで約20万人の純増加につながりました。2100年までに約40億人が増えて、アフリカで最も多く、そのほとんどがアジアで。有名な寛容なイスラム教徒は、地球の約1/5から約1/3に上昇し、多数のH爆弾とAI制御ドローンを制御する可能性が高いですおよびAI制御ドローン。それを支配する数百人の政治家の社会的妄想のおかげで、アメリカの「多様性」と「民主主義」との恋愛は、第3の世界地獄への変革を保証し、中国を運営する有名な慈悲深い7つの社会主義者が現在中心的な舞台に立っています(一带一路イニシアチブ、債務トラップ外交、クラウチングタイガーをネットまたはYoutubeで調べてください)。海面は2100年までに1~3メートル上昇すると予測されており、一部の予測は10倍高いと予測されています。それは最終的にはるかに高く上昇し、世界の主要な作物や最も人口の多い地域の多くをカバーすることは全く間違いありません。また、石油と天然ガスと石炭を手に入れやすい良質がなくなり、地球の多くが表土を剥ぎ取り、すべての森林がなくなり、漁業が劇的に減少していることも明らかです。私はAIがこれを修正する方法のもっともらしい説明を見たいと思います。理論的に可能であっても、それらを作成し、維持するためにお金や汚染や社会的苦痛のどのようなコストで?熱力学の第二の法則と物理学、化学、経済学の残りの部分は、アンドロイドだけでなく、ホミノイドのために働きます。そして、その明白な生活があなたの利益が私の損失であるゼロサムゲームであるときに、誰が世界に協力を強制するつもりですかa zero-?確かにジハード主義者や七つの社会主義者ではありません。無料のランチはありません。たとえロボットがすぐにすべての人間の仕事をすることができたとしてもsoon、それは絶え間ない国際的な紛争、飢餓、病気、犯罪、暴力、戦争から世界を救うことはできません。eyこの限られた豊かな時間(地球を激しくして買って買った)に協力させることができないとき、無政府状態が地球の上を席卷しているときにそれを行うと仮定するのは絶望的にナイーブです。

エレクトロニクス、ロボット工学、AIの技術進歩が起こり、社会に大きな変化をもたらすことは当然だと思います。しかし、遺伝子工学による変化は、少なくとも私たちが誰であるかを完全に変えることを可能にするので、少なくとも大きく、潜在的にはるかに大きいと思います。そして、私たちの遺伝子や他のサルの遺伝子を改変することによって、超スマート/超強力な召使いを作り出すことを可能にするでしょう。他の技術と同様に、抵抗する国は取り残されます。しかし、バイオロボットや超人を大規模に実装することは、社会的にも経済的にも実現可能でしょうか?そして、たとえそうであっても、産業文明の崩壊を防ぐために、経済的にも社会的にも遠隔では可能ではないようです。

だから、この巻の哲学的過ちを無関係なものとして無視し、科学だけに注意を向けるのは、基本的な生物学、心理学、人間の生態学、アメリカと世界を破壊しているのと同じ妄想を把握できなかったことに根ざしたもう一つの自殺的なユートピア的妄想です。私は世界が救われる可能性を見ているますが、AI /ロボティクス、CRISPR、民主主義、多様性、平等によってではなく、彼はAIがもたらす危険を非常に過小評価していると思います。